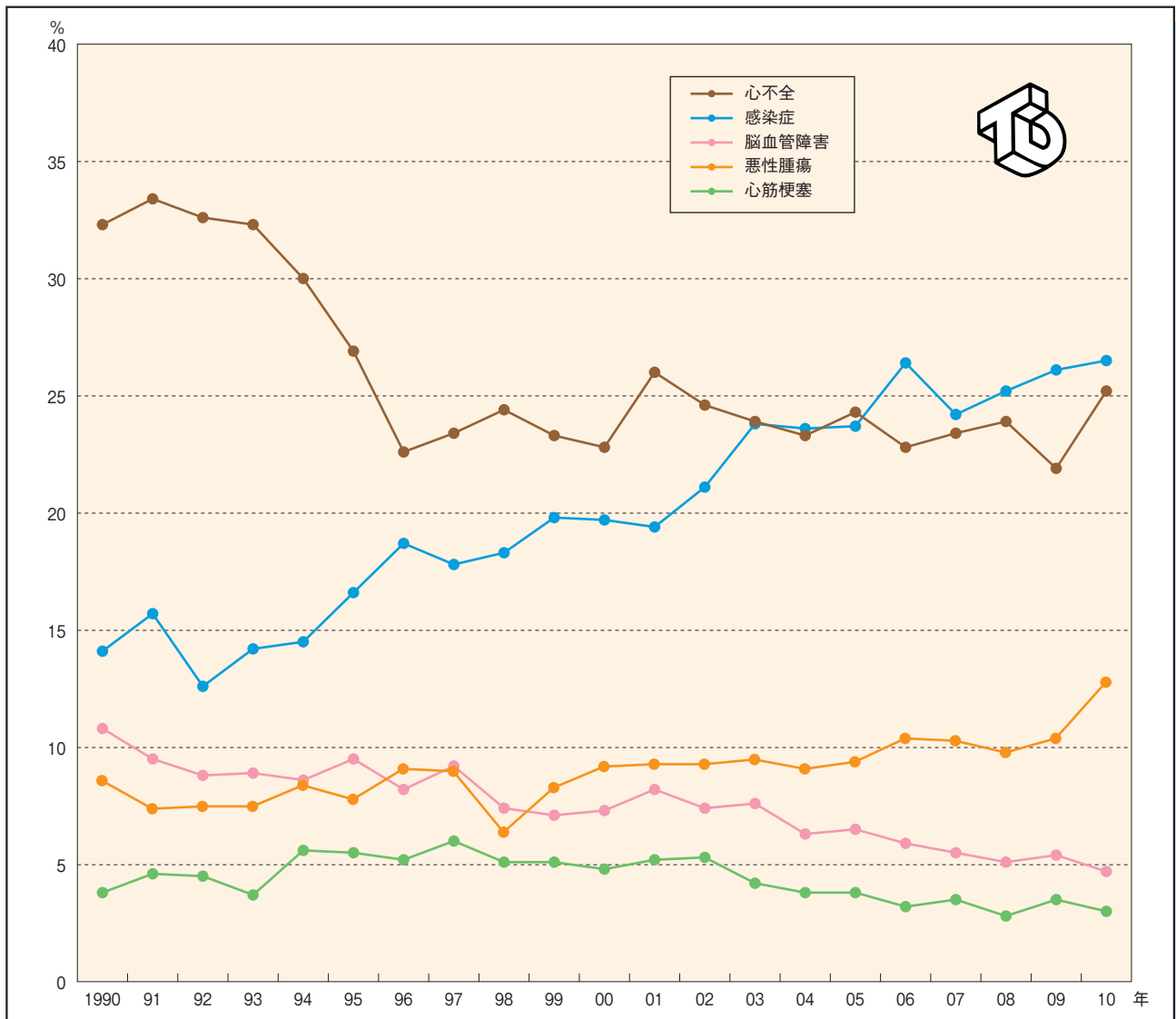


5) 死亡原因

(2) 導入年死亡患者死亡原因の推移 (図表17)



年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
心不全	32.3	33.4	32.6	32.3	30.0	26.9	22.6	23.4	24.4	23.3	22.8	26.0	24.6	23.9	23.3	24.3	22.8	23.2	24.1	21.8	25.2
感染症	14.1	15.7	12.6	14.2	14.5	16.6	18.7	17.8	18.3	19.8	19.7	19.4	21.1	23.8	23.6	23.7	26.4	24.2	25.2	26.1	26.5
脳血管障害	10.8	9.5	8.8	8.9	8.6	9.5	8.2	9.2	7.4	7.1	7.3	8.2	7.4	7.6	6.3	6.5	5.9	5.5	5.1	5.4	4.7
悪性腫瘍	8.6	7.4	7.5	7.5	8.4	7.8	9.1	9.0	6.4	8.3	9.2	9.3	9.3	9.5	9.1	9.4	10.4	10.3	9.8	10.4	12.8
心筋梗塞	3.8	4.6	4.5	3.7	5.6	5.5	5.2	6.0	5.1	5.1	4.8	5.2	5.3	4.2	3.8	3.8	3.2	3.5	2.8	3.5	3.0

患者調査による集計

解説

透析に新規導入された年に死亡した患者の死亡原因の推移を図表に示す。今回も感染症が26.5%で第一位であった。心不全は第二位で25.2%であった。第三位は悪性腫瘍の12.8%、第四位は不明の8.8%（表中には図示されていない）、第五位は脳血管障害で4.7%、以降、悪液質/尿毒症（3.9%）、心筋梗塞（3.0%）の順であった。感染症が原因で死亡する患者は経年的に増加している。長期的にみると死亡原因としての悪性腫瘍は漸増し、脳血管障害や心筋梗塞は漸減している。